



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社ミダックホールディングス 上場取引所 東 名  
コード番号 6564 URL <https://www.midac.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 恵子  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 高田 廣明 TEL 053-488-7173  
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	5,147	22.7	1,911	41.0	1,859	40.6	1,179	56.5
2024年3月期中間期	4,194	10.9	1,355	7.9	1,322	8.0	753	2.9

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 1,179百万円 (56.5%) 2024年3月期中間期 753百万円 (2.9%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	42.66	42.66
2024年3月期中間期	27.29	27.29

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	27,364	13,760	50.2
2024年3月期	26,901	12,789	47.4

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 13,725百万円 2024年3月期 12,759百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	8.00	8.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,391	8.8	3,849	8.8	3,881	14.9	2,484	30.3	89.84

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P6「（3）中間連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更に関する注記）をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期中間期	27,773,500株	2024年3月期	27,773,500株
2025年3月期中間期	115,322株	2024年3月期	115,302株
2025年3月期中間期	27,658,178株	2024年3月期中間期	27,621,145株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 中間連結貸借対照表 .....	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	5
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(会計方針の変更に関する注記) .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	7

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が見られたことから緩やかな回復基調で推移しました。一方で、欧米の高金利水準の継続や中国経済の先行き懸念、物価上昇、中東地域をめぐる情勢など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは第1次中期経営計画のもと、「成長加速のための基盤づくり」に向け、既存事業における収益力の強化を推し進めてまいりました。特に、管理型最終処分場を中心とした廃棄物受託量の拡大に努め、新規大口案件の受託や既存取引先との取引量の拡大により、廃棄物受託量は大きく増加しました。

加えて、前期第3四半期連結会計期間より業績に反映している株式会社フレンドサニタリーの業績に関しても、安定した事業環境を背景に堅調に推移しております。さらに遠州砕石株式会社においては、当期より取り組みを開始した残土管理事業により、施設開発におけるガバナンスの強化や収益力の向上に寄与しております。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は5,147百万円（前年同期比22.7%増）、営業利益は1,911百万円（同41.0%増）、経常利益は1,859百万円（同40.6%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,179百万円（同56.5%増）と増収増益を確保し、中間期の売上高、各利益において過去最高を更新しました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 廃棄物処分事業

株式会社ミダックにおいては、旺盛な埋立需要を背景に最終処分場における廃棄物受託量が大きく増加しました。また、水処理施設においても大口スポット案件の貢献により受託量は増加しました。以上の結果、売上高は3,978百万円（同5.7%増）となり、セグメント利益は2,076百万円（同5.9%増）となりました。

#### ② 収集運搬事業

産業廃棄物においては、大口取引先に対する価格転嫁が奏功したものの、豪雨等に係る災害廃棄物をはじめとするスポット案件の減少等により、受託量は前期に比べ減少しました。一般廃棄物においては、株式会社フレンドサニタリーの業績が今期より通期で貢献していることから、受託量は前期よりも増加しました。以上の結果、売上高は969百万円（同159.5%増）となり、セグメント利益は284百万円（同483.0%増）となりました。

#### ③ 仲介管理事業

小口案件および大口案件ともに受注数が増加したことに加え、搬入効率や収益性の向上を念頭に置いた営業活動に注力したことで、協力会社への仲介は好調に推移しました。以上の結果、売上高は61百万円（同4.0%増）となり、セグメント利益は42百万円（同8.9%増）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は10,120百万円となり、前連結会計年度末に比べ315百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少額242百万円等によるものであります。

また、固定資産は17,244百万円となり、前連結会計年度末に比べ779百万円増加しました。これは主に、土地等有形固定資産の増加額907百万円、のれん等無形固定資産の減少額118百万円等によるものであります。

この結果、総資産は、27,364百万円となり、前連結会計年度末に比べ463百万円増加しました。

#### （負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は4,142百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,669百万円減少しました。これは主に、短期借入金の減少額2,800百万円等によるものであります。

また、固定負債は9,461百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,161百万円増加しました。これは主に、長期借入金の増加額2,134百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、13,604百万円となり、前連結会計年度末に比べ507百万円減少しました。

#### （純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は13,760百万円となり、前連結会計年度末に比べ970百万円増加しました。これは、親会社株主に帰属する中間純利益1,179百万円を計上したこと等による利益剰余金の増加額958百万円等によるものであります。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月15日付の「2024年3月期 決算短信」にて公表しました連結業績予想から修正はございません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,787,716	8,706,610
受取手形及び売掛金	1,303,777	1,061,196
棚卸資産	73,837	74,850
その他	273,183	280,535
貸倒引当金	△2,481	△3,015
流動資産合計	10,436,032	10,120,177
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,005,784	985,195
機械装置及び運搬具(純額)	726,225	740,571
最終処分場(純額)	4,870,675	4,722,694
土地	4,577,814	5,032,174
建設仮勘定	2,150,167	2,762,597
その他(純額)	66,759	61,219
有形固定資産合計	13,397,426	14,304,453
無形固定資産		
のれん	1,220,669	1,086,680
施設設置権	80,200	60,150
その他	65,856	101,822
無形固定資産合計	1,366,725	1,248,653
投資その他の資産		
投資有価証券	257,193	257,340
繰延税金資産	669,058	665,409
その他	774,663	768,299
投資その他の資産合計	1,700,916	1,691,049
固定資産合計	16,465,068	17,244,155
資産合計	26,901,101	27,364,333

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	55,334	45,423
短期借入金	4,090,000	1,290,000
1年内返済予定の長期借入金	983,224	1,117,548
未払法人税等	752,529	672,235
未払金	334,245	549,667
賞与引当金	126,483	129,799
その他	469,864	338,002
流動負債合計	6,811,681	4,142,675
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	5,184,421	7,319,378
繰延税金負債	82,502	85,670
退職給付に係る負債	34,222	36,161
役員退職慰労引当金	758,000	758,000
最終処分場維持管理引当金	881,533	910,216
資産除去債務	112,538	112,555
その他	46,410	39,357
固定負債合計	7,299,628	9,461,339
負債合計	14,111,309	13,604,014
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	4,909,038	4,916,085
利益剰余金	7,862,738	8,821,305
自己株式	△103,542	△103,572
株主資本合計	12,758,234	13,723,818
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,307	1,277
その他の包括利益累計額合計	1,307	1,277
新株予約権	30,249	35,222
純資産合計	12,789,791	13,760,318
負債純資産合計	26,901,101	27,364,333

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,194,902	5,147,226
売上原価	1,682,960	2,097,338
売上総利益	2,511,942	3,049,887
販売費及び一般管理費	1,156,577	1,138,166
営業利益	1,355,364	1,911,721
営業外収益		
受取利息	900	1,532
固定資産売却益	1,634	4,293
不動産賃貸料	7,387	4,198
その他	2,910	6,593
営業外収益合計	12,832	16,618
営業外費用		
支払利息	38,236	55,828
その他	7,330	13,250
営業外費用合計	45,566	69,078
経常利益	1,322,630	1,859,261
税金等調整前中間純利益	1,322,630	1,859,261
法人税等	568,803	679,428
中間純利益	753,827	1,179,832
親会社株主に帰属する中間純利益	753,827	1,179,832

## (中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	753,827	1,179,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△30
その他の包括利益合計	—	△30
中間包括利益	753,827	1,179,802
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	753,827	1,179,802

（3）中間連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年 10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。



(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	3,762,483	373,531	58,887	4,194,902	—	4,194,902
外部顧客への売上高	3,762,483	373,531	58,887	4,194,902	—	4,194,902
セグメント間の内部売上 高又は振替高	175,656	4,599	6,531	186,786	△186,786	—
計	3,938,139	378,130	65,419	4,381,689	△186,786	4,194,902
セグメント利益	1,961,033	48,717	39,133	2,048,885	△693,520	1,355,364

(注) 1. セグメント利益の調整額△693,520千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当中間連結会計期間（自2024年4月1日 至2024年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計			
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	3,978,758	969,456	61,257	5,009,472	137,753	—	5,147,226
外部顧客への売上高	3,978,758	969,456	61,257	5,009,472	137,753	—	5,147,226
セグメント間の内部 売上高又は振替高	163,893	4,640	15,888	184,421	390	△184,812	—
計	4,142,652	974,097	77,145	5,193,894	138,143	△184,812	5,147,226
セグメント利益	2,076,499	284,048	42,613	2,403,161	72,332	△563,772	1,911,721

(注) 1. セグメント利益の調整額△563,772千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。